



2000年09月06日

フォルクスワーゲン 8月の登録台数 対前年比150%

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(略称:VGJ)、社長:ピーター ノッカー、本社:愛知県豊橋市)がまとめた登録台数結果によると、8月単月の台数は、対前年比50%増の3,560台で、8月度としては過去最高を記録、昨年9月以来12ヶ月連続で前年実績を上回りました。

輸入車市場全体が対前年比6%増であるのに対し、フォルクスワーゲンは対前年比50%増と大幅な伸びを記録しました。今年1月からの累計販売台数は38,388台(対前年比30%増)で、年間販売目標である54,000台という新記録達成に向けて好調に推移しています。

この好調な販売は、ニュービートルに代表される人気の新型モデル導入、常にCS向上を目指しているフォルクスワーゲン正規ディーラーの日々の営業活動や、物流システムの最適化などによる迅速な供給体制などにより支えられていると考えています。

またVGJは、上記の他にもブランドイメージ向上と新規顧客層の開拓の為に、音楽やスポーツ分野におけるスポンサリング活動、オーナーズイベントなどを積極的に実施しています。約5000名のVWユーザーが集まった8月6日(日)の"Volkswagen Fest in Motegi"に続き、去る8月26日(土)には、愛知県豊橋市のVGJ本社にて地元市民を対象としたオープンハウス イベント "Volkswagen Thanks Day in Toyohashi" を実施しました。その結果、近隣住民の方々を中心に約3200名もの来場があり、通常は一般公開していないVGJ敷地内にある専用埠頭での車両陸揚げ風景や新車整備センターなどの施設見学、VW車の試乗などを通して、フォルクスワーゲン ブランドに対する理解を深めていただきました。さらにそれに先立つ8月24日(木)には、フォルクスワーゲンAGの本社所在地であるドイツのウォルフスブルグ市から市立音楽学校のオーケストラが来日し、東京千代田区の紀尾井ホールにて、都立狛江高校の箏曲部とのジョイントコンサートを実施。VGJはサウンド ファンデーションの一環として、この公演をサポートしました。

このようにVGJは、プロダクトレンジの拡大、安心プログラムを代表としたアフターサービスの充実、さらにスポンサリング活動などによるブランドイメージ向上という3つの柱を中心として「変革するフォルクスワーゲン」をアピールしてまいります。